

平成18年度東北海区海況予報 第5号

平成19年2月20日

独立行政法人水産総合研究センター 北海道区水産研究所

東北区水産研究所

<<今後の見通し(2007年3月中旬)>>

- (1)近海の黒潮の北限位置は、かなり南偏～やや南偏(35°N～36°N)で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北限位置は、近海でやや北偏で推移する。
- (3)釧路沖、常磐沖の暖水塊は持続する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、やや北偏(39°30'N～40°30'Nまで)で推移する。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並(142°20'E付近まで)で推移する。

(海況の経過(2006年12月～2007年1月)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、流軸の蛇行に伴い、平年並(37°10'N)から極めて南偏(35°10'N)で推移した。
- (2)暖水塊が、択捉島南東沖合約270km*、釧路南東沖合約260kmにあり、新たに常磐沖合約250km*にできた。
- (3)親潮第1分枝の張り出しは、やや南偏～平年並(40°20'N～41°N)であった。また冷水域が三陸沖合に分布した。
- (4)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、強勢～やや強勢(143°20'E～142°30'E)であった。
- (5)東北海区の表面水温は、12月まで北海道東方から三陸まで低めであったが、1月には三陸沖合を中心に高くなった。

(現況(2007年1月下旬～2月上旬)の特徴)

- (1)近海の黒潮の北限位置は、かなり南偏(35°40'N)している。
- (2)釧路南東沖、常磐沖の暖水塊は停滞している。
- (3)親潮第1分枝の張り出しは、やや北偏している(41°N以南)。
- (4)塩屋崎沖に冷水域がある。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、やや強勢である(142°40'E)。
- (6)表面水温は、三陸沿岸では平年並、三陸沖合ではやや高くなっている。

注：現況および今後の見通しは図を参照のこと。

「近海」は146°E以西、「沖合」は146°E以東を表す。

* 表面水温・人工衛星情報による